

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	生活路線バス補助事業		事業開始年度	平成17年度			
担当課	総合政策部 総合政策課		担当者	風見 萌香			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	01	公共交通機関の確保				
事業の目的	市民の移動手段の確保のため、市内の公共交通機関を維持する。						
事業の概要	収益が赤字・平均乗車密度が0.5人以上等の要件に該当する路線バスの運行経費を助成するため、生活路線バス維持対策事業補助金を交付する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	12,198		10,097		14,618	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
		関東自動車(株)が運営する路線の1日当たりの運行本数	本	11	11	11	11
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	馬頭線・フィオーレ線については、市が助成することにより運行本数を維持することができた。馬頭線については、利用者の減少により市の助成金が増加した。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	公共交通計画再構築事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	市民生活部 生活環境課		担当者	町田 健二			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	01	公共交通機関の確保				
事業の目的	現行の公共交通の運行状況の分析結果に基づき、利用しやすく、かつ、継続性の高い新たな公共交通を整備する。						
事業の概要	地域公共交通総合連携計画に基づき、公共交通の維持・改善を図る。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	15,588		17,690		23,050	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	市内移動の交通手段がなく、日常生活に困っている市民の割合	%	13.6	13.4	12.5	12
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	目標値より高い%であるため、概ね達成したとは言えないが、デマンド交通の愛称を公募し決定するなど、利用促進を行えたため。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	道路用地事務処理事業		事業開始年度	平成26年度			
担当課	建設部 建設課		担当者	用地係 長嶋			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	さくら市が管理する道路、水路上に民有地が存在する状態を解消し、さくら市の所有とする。						
事業の概要	道路、水路上に存在する民有地を確認後、経緯の調査後に寄附又は買収の契約を行い、所有権を移すための登記を行い事務完了となる。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	3,410		2,714		6,723	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	さくら市へ所有権移転完了(筆数)	筆数	40	20	30	30
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明						
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	道路改良事業			事業開始年度	平成26年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	桐原明彦		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	市道の改良（線形改良、拡幅、排水施設改良等）により、交通の安全確保や産業・生活等の利便性を向上するために必要な道路環境を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	176,512		203,870		183,962	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	本年度に改良された道路延長	m	1,015	1,086	936	1000
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	用地交渉や工事発注を計画的に実施したことにより、目標を概ね達成している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小			業務量	○拡大 ●現状 ○縮小	

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	市道K1010号線他2路線道路改良事業			事業開始年度	平成 8年度		
担当課	建設部 建設課		担当者	桐原明彦			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	現道拡幅改良し、葛城大橋を架け替えることにより、産業・生活等の利便性の向上を図るとともに、中心市街地へのアクセス強化に資する道路を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工事実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	316,008		92,246		10,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	整備率	%	69	69	75	80
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	用地交渉が難航しており、目標を達成できていない。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小		業務量	●拡大 ○現状 ○縮小		

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	金枝橋・金竜橋線道路改良事業			事業開始年度	平成19年度		
担当課	建設部 建設課			担当者	桐原明彦		
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	喜連川市街地周辺の地域住民や道路利用者に利便性・快適性・安全性の高い道路を提供することにより、歩行者等の安全と市街地の渋滞緩和を図る。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工実施の手順により事業を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	0		0		0	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	供用開始率	%	0	0	0	30
	成果	用地取得率	%	0	0	30	100
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ○多少は達成した ●達成できず					
	説明	用地交渉が難航しており、目標を達成できていない。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	道普請事業			事業開始年度	平成21年度		
担当課	建設部 建設課		担当者	中山 宗美			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	市道以外の認定外道路や私道の整備する。						
事業の概要	市道以外の認定外道路や私道の整備を、地域住民と協働で行う。 整備に必要な原材料を市が支給し、地域住民の労力奉仕で整備工事を行う。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	602		449		1,850	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	整備件数	件	1	1	3	3
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	事業を活用していただくため、PRを図る。 なお、今年度要綱を改正し、次年度からは活用しやすい環境を整えた。					
見直し余地	判定	●数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ●現状 ○縮小		業務量	○拡大 ●現状 ○縮小		

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	市道U1-10号道路改良事業			事業開始年度	平成25年度		
担当課	建設部 建設課		担当者	桐原明彦			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	02	安全で快適な道路の整備				
事業の目的	生活拠点や産業拠点を結ぶ重要な路線として、地域住民の安全性を確保するとともに、円滑に移動できる交通環境を提供する。						
事業の概要	改良計画に基づき、測量・設計・物件調査・用地買収・物件補償・工実施の手順により事業を実施する。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	69,657		41,789		78,000	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	整備率	%	31	31	31	63
達成度の評価と説明	評価	○達成、概ね達成した ●多少は達成した ○達成できず					
	説明	先行して用地取得に努め、計画的な工事の発注が可能であるが、交付金事業の配分率が低く、財源の確保が困難となっているため、発注区間の見直しに伴う目標の修正が生じている。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	



**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	道路維持補修事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 建設課		担当者	富田 渉			
<b>■事業の執行計画【計画（Plan）】</b>							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	市道通行の安全を保つ。						
事業の概要	道路損傷箇所等について、補修の必要性・優先順位等を検討し、計画的に修繕工事を実施している。						
<b>■事業実施結果【実施（Do）】</b>							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	148,631		117,644		111,150	
<b>■前年度の事業分析【評価（Check）】</b>							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	道路維持補修必要箇所への補修対応率	%	77.3	68.4	100	100
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	道路補修等必要件数19件に対し、13件の補修等工事を実施した。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
<b>■将来方向性【改善（Action）】</b>							
事業の方向性	●見直し継続 ○現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	道路維持管理事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 建設課		担当者	富田 渉			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	市道の日常的な維持管理を迅速に行う。						
事業の概要	市道の管理、補修を行うことにより、道路等の適切な維持を図る。 道路及び水路等の緊急的な維持復旧を行なうことにより市民生活等の利便性及び安全性の						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	86,669		78,047		112,539	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	修繕箇所数	箇所	16	12	15	15
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	市民から寄せられる補修・修繕の要望については、適宜対応している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ○余地はあるがまだ時間が必要 ●余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	●拡大 ○現状 ○縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	

**事務事業調査（通常評価事業 事後評価）**

事務事業名	橋梁維持事業			事業開始年度	平成17年度		
担当課	建設部 建設課		担当者	富田 渉			
■事業の執行計画【計画（Plan）】							
総合計画体系	政策	05	機能的で住みやすい安全な都市機能				
	施策	01	安全で快適な交通環境の充実				
	基本事業	03	道路・橋梁の長寿命化と維持管理				
事業の目的	橋梁交通の安全を図る。						
事業の概要	橋梁の定期点検を実施し維持管理を行う。 橋梁の長寿命化修繕計画に基づき、劣化改修工事を実施する。						
■事業実施結果【実施（Do）】							
事業費の推移	年度	29年度		30年度		元年度	
	実績/当初予算	実績		実績		当初	
	総事業費	62,608		26,221		39,000	
■前年度の事業分析【評価（Check）】							
指標の推移	指標区分	指標名称	単位	29年度 実績	30年度 実績	元年度 計画	2年度 計画
	成果	点検が完了した橋梁数	橋	204	0	117	37
	成果	点検した結果、安全が確認された橋梁数	橋	166	0	94	30
達成度の評価と説明	評価	●達成、概ね達成した ○多少は達成した ○達成できず					
	説明	橋梁点検については計画どおり実施している。					
見直し余地	判定	○数年内に見直し可能 ●余地はあるがまだ時間が必要 ○余地なし					
■将来方向性【改善（Action）】							
事業の方向性	○見直し継続 ●現状どおり継続 ○廃止・完了						
資源方向性	予算額	○拡大 ○現状 ●縮小			業務量	●拡大 ○現状 ○縮小	